

喜入地域における 「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和元年8月9日(金) 17:00~18:10

場所: 喜入公民館

※ 令和元年度 第3回目

令和元年9月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時：令和元年8月9日（金）17:00～18:10

場所：喜入公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	古久川集落	① 古久川集落は37世帯しかない小さな集落である。少子高齢化が進んでいる。集落内に4戸の市営住宅があるが、1戸空いている。入居をしても、市営住宅の規制である程度の収入があると出ていかないと、なかなか定住に繋がらない。人口が増える要素にならないので、何とか定住できる方法を考えていただけないか。	① 貴重な提言を頂き、心から感謝申し上げます。市営住宅については、住宅にお困りの方に低廉な料金で提供する役割があります。市営住宅の家賃については、国の法令で定められており、入居者の収入に応じて決められております。そういう意味で独自に鹿児島市で設定することは無理でありますので、低廉な家賃ということで、そこはご理解をいただきたいと思っております。国の補助事業を活用してできた住宅ですので、そういう縛りがあるということです。できるだけ活用して頂きたいと思っておりますが、定住を含めて、地域に人が集まっていくような手立てをしていかないといけないと思っております。	建設局 企画財政局	【建設局】 市長回答のとおり 【企画財政局】 古久川集落は喜入生見辺地の一部で、今年度以降、新たに光ブロードバンドの整備促進等に取り組むこととしており、今後とも地域の活力の維持・増進を図ってまいりたいと考えております。
2	手織り工房わくわく本舗	② 織物工房をやっている。皇徳寺から喜入に移転してきた。喜入に来て一番感じたのは、どうしても指宿や知覧へ行く途中で、喜入は素通りされてしまう。どうにかしたいとの思いで、手作りのまちにしたいと思い、一倉に畑を借りて綿の栽培をしている。まちとしてアドバルーンをあげないといけない。グリーンファームや温泉をうまく活用しながら、来年は外国の方もたくさん来られると思うので、是非とも喜入に寄って、活動を体験して、指宿や知覧へ行って頂きたい。子どもたちや全国の方の定住を考えている方を対象に、旅行会社などもタイアップして、グリーンファームを活用し、海、山、工場、季節の花などを総合的にプランニングしてやっていきたい。	② 大変素晴らしい企画をご提案を頂き、嬉しく思います。私自身も喜入地域を中心とした南薩地域の活性化振興に取り組んでいきたいと常日頃思っており、指宿市長、南九州市長、枕崎市長などともそういった話をしております。回遊性のある地域の振興は大変大事だと思います。そういった意味では、南薩地域の発展のために、グリーンファームが核となって、中心的な拠点施設になると良いと思っております。海、山、花などの自然を活かしたプランを考えておられるとのことですので、行政として何ができるか一緒になって検討できると思います。是非今のプランを具体的なものとして、ご提案を頂きたいと思っております。	観光交流局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時：令和元年8月9日（金）17:00～18:10

場所：喜入公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	生見まちづくり協議会	③ 小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明を昨年生見校区の説明会で聞いた。もし小学校がなくなると、若い方が住まなくなり、地域が消滅していく。そのことを選挙公約に掲げる候補者が出てくると一気に計画が進むのではないかと心配している。	③ 学校規模適正化・適正配置の基本方針に関する説明会につきましては、多くの皆様方にご参加いただいております。皆様方に、ご不満やご心配をおかけしている所もあろうかと思っております。地域の衰退につながるかと、地域の連携連帯、きずなが失われるなどの心配があらうかと思っておりますが、今年度については、皆様方の考え方、ご心配、こういった希望があるなどの意見を踏まえて取り組みを進めていくということです。すぐに小学校、中学校を廃止することではなく、どういった規模が適正であるかということ、地域の皆様方と一緒に考えていく方針でございます。保護者、地域、学校、児童生徒を取り巻く状況について、意見交換をしっかりと行って参りたいと思っております。意見交換の場をそれぞれの地域において設けて参りますので、ご希望があったら喜入支所や各学校にお話し頂ければと思います。	教育委員会	市長回答のとおり
		④ 学校と地域が連携・協働して子ども達の学びを充実させ、地域の活性化にも繋がる「組織」作りを市として考えていただけないか。	④ 市内の36地域に学校支援地域本部を設置し、各本部に地域コーディネーターを配置し、学校支援ボランティア事業を推進しております。市内の全小学校を対象に配置しており、平成29年度からは中学校でも試験的に実施しております。学習支援、読み聞かせ、学校行事、環境整備の支援など、学校のニーズや実態に応じた多岐にわたる活動をされておりまして、今後さらなる事業の充実を図っていききたいと思っております。 また、それぞれの小学校区に地域コミュニティ協議会が設立されておりますので、学校を含む幅広い団体と連携協力しながら、地域課題の解決や、地域資源を活かした取組みを行っておりますので、このような組織を介して地域が主体となるまちづくりを進めていただきたいと思っておりますので、新たに組織を作るということではなくて、現状でいききたいと思っております。	教育委員会 市民局	【教育委員会】【市民局】 市長回答のとおり
		⑤ コミュニティスクールという組織がある市町村もあると聞いているが、本市にも取り入れる考えはないか。	⑤ 地域コミュニティ協議会や各学校地域本部というものを設けておりますので、そういった組織を活用して頂ければと思います。	教育委員会 市民局	【教育委員会】 コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョン等の実現に向けて、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加する学校運営協議会制度を導入した学校でございます。国におきましては、平成30年6月に決定した第三期教育振興基本計画において本制度を全ての公立学校に導入することを目指すとしております。効果としましては、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現するなどとされております。 本市としましては、29年度から、小中一貫教育及びコミュニティ・スクール鹿児島県連絡協議会に参加し、情報収集に努めているところであり、今後も各方面から研究してまいりたいと考えております。 【市民局】 市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時: 令和元年8月9日(金) 17:00~18:10
場所: 喜入公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	喜入校区コミュニティ協議会	⑥ 鹿児島市街地は、サッカー場建設、市電延伸、国体など、県とも連携して色々な都市計画が進んでいますが、合併した郡部は、人口減少、空き家の増加など過疎化が進んでいます。合併して良くなったことは一体何だろうという方も出てきている。市としての過疎対策を是非お聞きしたい。	⑥ 人口減少は鹿児島県全体で進んでおります。これはどうしても通らざるを得ない状況であると思っております。鹿児島市においては、総合計画という10年計画を作っています。平成24年に第5次総合計画を策定し、それぞれの地域の課題を掘り起こして、その解決に向けて色々な事業を展開しております。 グリーンファームや喜入公民館、支所、消防署の改修、旧麓地域、森林資源の育成、地域の特産物の生産、都市型農業の振興ということにも力を入れています。過疎ということは、人口が減少することで衰退し、都市の形態も変わっていきますので、できるだけ過疎にならないように入込人口を多く受け入れ、Iターン、Uターンなどの取組みにも力を入れています。 昨年から地域おこし協力隊の方も喜入地域に配置して、そういう方の情報発信によって、喜入地域や、市内の過疎的な地域に人口が増えるような取り組みをしっかりと進めていかなければならないと思っております。 また、空き家対策も喫緊の市政の課題であります。空家活用アドバイザーという専門的な見地から助言を行う方を配置しており、無料で派遣しておりますので、ご活用いただきたいと思います。 また喜入地域では、生涯活躍のまち、CCRCと言いますが、平成30年度から、医療法人参天会と社会福祉法人喜入会が共同で事業主体となり、魅力あるまちづくりに取り組んで頂いております。鹿児島市では初めての取組みであります。この取組みは喜入地域に人を呼び、活性化に繋がると思っております。事業主体の方々に市としてもしっかりと支援をし、移住に繋がっていくと思っておりますので、力を入れていきたいと思っております。 それぞれの地域が人口減少で悩んでおりますが、できるだけ多くの方に鹿児島に来ていただき、そして定住して頂くような手立てをしっかりとしていければと思います。	企画財政局 観光交流局 建設局	【企画財政局】【観光交流局】【建設局】 市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時：令和元年8月9日（金）17:00～18:10

場所：喜入公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	前之浜地域 まちづくり協 議会	<p>⑦ 高齢化、過疎化がさらに進み、世帯数も減少の一途を辿っている。コスモス祭については、少しでも元気の出るまつりをしようということで、スタートは市民協働課の補助事業で実施してきたが、5年間までということであった。今は自前のまつりとして実施しているが、弱体化している状況にある。まちづくり協議会の助成もあるが、高齢化対策、少子化対策の事業にもっと力を入れていただきたい。</p>	<p>⑦ コスモス祭は10周年を迎えられたとのことで、長年にわたり大変ご貢献頂き、心から感謝を申し上げます。コスモス祭に対しまして、今はコミュニティ協議会への補助金の中で助成させて頂いております。その中で協議を重ねて頂いて、財源等も捻出して頂きたいと思っておりますし、コミュニティ協議会に対する市の支援もさらに強化をしていかなければならないと思っております。私自身はそれぞれの地域の方が地域で工夫、連携して頂きながら、地域を振興、活性化して欲しいという思いで、地域コミュニティ協議会を設立させて頂きました。学校関係、環境問題、あいご、防犯など、一緒になってそれぞれお考え頂く、核となる協議会ですので、運営、取組み等に対してはさらに市としても支援をしていかないといけないと思っております。協議会の中でコスモス祭を含めてしっかりとした取り組みを進めて頂きたいと思っております。</p>	市民局	<p>コスモス祭への後援及び周知広報等に引き続き努めるとともに、協議会の運営等につきましても校区の実情を踏まえ、地域連携コーディネーターから助言や情報提供を行うなど、よりきめ細やかな支援を行ってまいります。</p>
		<p>⑧ 小中学校の規模適正化・適正配置に関しては、生見と同じだが、まちづくり協議会が発足して、まちづくりを推進するには、学校が無くてはならない。学校という形で残してもらわないと、少子高齢化の歯止めがさらにかからなくなる。</p> <p>また、説明会は希望すれば開かれるのか、それともまた行政で調整されるのか。</p>	<p>⑧ 学校が中心となり、それぞれの地域のまちづくりの大きな拠点となっているのは当然のことではないか思っております。だんだん児童生徒が少なくなり、周辺の環境も変わっていきますので、環境が変化する中でどうあるべきか、今後、地域の皆様方や学校を所管する教育委員会と十分にお話して頂きたいと思っております。</p> <p>今の段階では、去年説明会をさせて頂きましたので、それ以降は、お申入れを頂ければ、教育委員会としてしっかりと対応をさせて頂きたいと思っております。</p>	教育委員会	<p>市長回答のとおり</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時：令和元年8月9日（金）17:00～18:10

場所：喜入公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	喜び入るまち 喜良輝良きい れ実行委員 会	⑨ グリーンファームを拠点としたまちづくりをしていきたい。広いイベント広場の活用策や、子どもが喜ぶ他に類を見ないような施設が欲しい。無料で水遊びエリア、無料で散水施設はとても良い。また、冷気ができる装置はとても保護者に評判が良いので、もし予算があれば増やしていただきたい。また、売店横の広場でイベントをすることによって売店も潤う。草スキー場や、空中散歩も検討してほしい。トレイルランニング大会は評判が良いようなので、もし可能であれば新しいコースを考えて頂きたい。そうすれば交流人口も増えていくと思う。	⑨ グリーンファームは開園から7年を迎え、およそ130万人の方がご来園されています。本市グリーン・ツーリズムの拠点施設として、市民や観光客の方に大変親しまれております。また、南薩地域の拠点施設としてグリーンファームが活用されることは、鹿児島市にとって大変有り難いことであり、喜入地域の発展にも大きな効果があると思います。今、具体的なお話が色々ありましたので、検討をさせてみたいと思いますが、トレイルランニング大会については、大変好評だったと私自身も伺っております。新しいコースの設定については、安全性を第一に考えて、一般来園者の妨げにならないよう、工夫をしながらまた参加をしてみたいと思えるようなコース、大会を検討していきたいと思っております。これは担当課だけではなく、全体で考えていかなければならないと思っております。グリーンファームが活性化することで、喜入地域全体の活性化にも波及していくと思っておりますので、皆様方の意見をしっかりと聞きながら取り組みを進めていきたいと思っております。	観光交流局	グリーンファームの施設やイベントにつきましては、今後も、地域や来園者のニーズ等を踏まえながら充実を図ってまいります。なお、今年度は、園のさらなる魅力向上及び利用促進を図るため、新たに幼児が楽しめる遊具や、雨天時でも体験等ができる屋根付きの多目的スペースなどを設置することとしております。
7	生見まちづくり協議会	⑩ 「学校の管理職住宅については、築30年経過すると住めない」という方針で、生見小の校長は非常に協力的だが校区外通勤で、教頭住宅についても今年で30年になり、来年から住めなくなる。こういう状況は教育環境の向上には繋がらない。校区民との連携信頼という意味でも、是非とも校区内に住んで頂きたい。安心・安全を考慮した住宅の補修はできないものか。	⑩ 教員管理職の校区内居住については、平成22年に見直しを行って、市内に自宅がある方については、自宅からの通勤を可とし、校区内に居住することは条件としないことになっております。耐用年数を過ぎた住宅への新たな入居はお断りし、補修改修は行わないという方針であります。校長、教頭先生が校区内に居住していれば、必然的に地域の方々とのつながりが深くなる面がありますが、市内に居住をすれば、そこから通えますのでそういった方針をとっております。緊急時の連絡体制をしっかりと、地域との連携を深めて頂けるように教育委員会へも伝えたいと思っております。	教育委員会	木造住宅については、築30年経過前から居住している場合、30年経過後も継続して居住は可能ですが、30年経過した住宅への新規入居はお断りしております。なお、30年経過した空家の住宅は順次解体しております。今後とも、管理職自らが地域の方々と連携・協力を密にし、校区の行事等に積極的に参加するなど、地域に開かれた学校づくりが一層充実するよう指導してまいります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時：令和元年8月9日（金）17:00～18:10

場所：喜入公民館

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	前之浜地域まちづくり協議会	⑪ 前之浜の管理職住宅は、30年以上経って使われずに、撤去もされず、以前は校区で草刈りもしていたが、教育委員会が管理者なのでそのままにしていると、草が1m以上生い茂ってそのままになっている。どうにかして貰いたい。	⑪ 教育委員会において調べさせて頂きたいと思います。	教育委員会	耐用年数を過ぎた教職員住宅については、順次解体を行っております。前之浜の管理職住宅についても、耐用年数を過ぎていることから、解体を予定しております。住宅敷地の草刈りは毎年行っており、今年度は8月28日に実施しました。
		⑫ 前之浜の白灰焼窯跡の管理がはっきりしていない。大きな窯跡であるが、草木が生えて石垣が見えない状態である。隣接して病院施設があり、病院が草刈りをする時に、合わせて史跡の所も刈っていたこともあるようだが、市が史跡として管理を含めて責任を持って手立てをしてほしい。	⑫ 個人のを史跡として認定しているのか、市の史跡として管理しているのかなどあります。民間のものは勝手にできないので、調べさせて頂きたいと思います。	教育委員会	喜入前之浜町にあります白灰焼窯跡につきましては、民間の方が所有する未指定の文化財であることから、その管理につきましては所有者の方をお願いしているところでございます。今後とも地域の宝として所有者及び地域の方々のご協力をお願いしたいと考えております。
9	前之浜地域まちづくり協議会	⑬ 学校規模適正化については、本当に子供達や高齢者のことを考えているのではなくて、財政的な問題ではないのか。	⑬ 財政面ということでは全くなくて、地域を如何に活性化し、地域の掘り起しをするという点で、一つの小学校区が良いのか、それとも2つを合併して校区をまとめる方が良いのか、適正な配置を考えておりますので、ご理解頂ければと思います。	教育委員会	市長回答のとおり
		⑭ 民生委員の後継者が地域にいない状況がある。行政に相談しても、居ない地域もありますよと簡単に言われる。もともと民生委員は厚生労働省の準公務員であるので、行政に責任がある気がするが、後は何処が責任を取るのか。本当に福祉を一生懸命やっていたらきたい。	⑭ 民生委員については、厚生労働省の準公務員でありまして、今不足しています。高齢化や定年制もあり、なかなか後継者を見つけれないのが現状です。しかし、今民生委員になっている方に、後任を見つけてくださいということにはしてはイケないと思いますし、行政として一緒になって地域の掘り起こしをしていかなければならないと思います。民生委員の方々はその地域の身近な相談役であり、地域の顔役として大変活躍をさせて頂いておりますし、地域の連帯感、信頼関係にもつながる大変重要な仕事をされております。後継者不足が現状であります。市としても皆様方と一緒に、後継者を選定していかなければなりません。	健康福祉局	民生委員の後継者不足の要因としましては、定年年齢の延長や過疎化、高齢化する地域での適任者の不足、民生委員の活動内容が十分に理解されていないなど、様々な要因が複合していると考えられます。 後継者の選考については、町内会の代表などで組織される民生委員候補者地区選考会で行っていますが、本市としましては、社会福祉の精神の下、地域福祉の増進に民生委員の方々果たしている意義、役割について、広く市民へ理解を深めるとともに、民生委員の方々と一緒に連携しながら地域において活動しやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えています。